

# 市民に活動発信

## いわき勿来RC

いわき勿来ロータリークラブ(RC)は十二日、いわき市内で熱気球体験搭乗会、公開例会、東日本国際大学長・早稲田大名誉教授の吉村作治さんの基調講演を開催した。「いわき勿来ロータリークラブの日」として、RC活動に理解を深めてもらう目的。

### 吉村作治さん講演



ユーモアを交えて講演する吉村さん

熱気球の搭乗会は植田町の鮫川河川敷公園で開いた。NPO法人熱気球運営機構の協力で、色とりどりの

熱気球四基が空高く浮かんだ。市内の親子ら約三百人が搭乗し、上空からの景色を楽しんだ。十一日夜には、

「バルーンイリュージョン」も行った。夜空に熱気球の炎が光り、会場を訪れた市民が幻想的な雰囲気味わった。

公開例会と基調講演は、毎週開催している例会の会場を錦町の勿来市民会館に移して市民に公開した。席上、四月にオープンした市

子ども元気パークへの備品寄贈を行い、鈴木雅之会長が本田和弘市こどもみらい部長に券売機などの目録を手渡した。基調講演で吉村さん



鮫川河川敷の空に浮かぶ熱気球

は「古代から現代にそして 未来へと続く夢のバトン」の題でユーモアを交えながら研究者としての自身の体験や考古学者の仕事について話した。イベント終了後に鈴木会長は「いわき勿来ロータリークラブの活動を市民や関係者に発信できたとと思う」と振り返った。



本田部長(右)に目録を手渡す鈴木会長